

序章

(1) 調査の目的

内閣府では、「女性の活躍と経済社会の活性化」について検討するため、平成23年3月に男女共同参画会議基本問題・影響調査専門調査会の下に「女性と経済ワーキング・グループ」(以下「女性と経済WG」という。)を設置し、女性と経済を巡る現状や課題を整理するとともに、今後の議論の方向性等について平成23年7月に「女性の活躍による経済社会の活性化 中間報告」(以下「中間報告」という。)を取りまとめている¹。

中間報告においては今後の議論の方向性として「新たな分野や働き方における女性の活躍」「制度・慣行、意識」「多様な選択を可能にする教育やキャリア形成支援」の3つの重点課題が示された。これらの課題を踏まえ、女性の活躍が経済社会の活性化に不可欠であることの共通理解を深め、女性の活躍推進方策について更なる検討を行うため事例を収集・分析した。

(2) 業務内容

- ① 事例対象の検討
- ② 事例リストの作成
- ③ 実地調査（ヒアリング等）
- ④ 事例集の見せ方、今後の活用方法の検討
- ⑤ 報告書の取りまとめ

¹ <http://www.gender.go.jp/danjo-kaigi/siryoku/ka39-2-1.pdf>